



油圧圧縮ヘッド EP-200W






取扱説明書

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください■

マクセルイズミ株式会社

このたびは **IZUMI** の工具をお買上げいただき誠にありがとうございます。
安全で確実な作業を行うため、この取扱説明書を十分お読み下さい。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は、「 警告」、「 注意」に区別されますが、誤った取扱をしたときに使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を「 警告」、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を「 注意」として記載しています。
なお、「 注意」に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警 告

1. 取扱説明書に掲載する仕様内の圧縮作業に使用してください。
 - スリーブに合ったダイスを使用してください。
組み合わせを誤りますと、本体が破損して障害や損傷を及ぼす恐れがあります。
2. 作業中のダイス部および可動部に触れないでください。
 - はさまれたり損傷した破片等が、飛散する恐れがあります。
3. ヘッド部を人に向けたり手や顔などを近づけるような使用はしないでください。
 - 破損し飛散する恐れがあります。
4. 感電に注意してください。
 - ぬれた手で電源プラグ等に触れないでください。
感電の恐れがあります。



警 告

5. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具は、雨の中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の恐れがあります。

6. 指定ダイスを使用してください。

- 取扱説明書および弊社カタログ等に記載されているダイス以外のものは使用しないでください。
事故やけがの原因となります。



注 意

1. 高所作業のときは下に人がいないことをよくお確かめください
●材料や本体を落としたとき等、事故の原因となります。
2. ヘッド部およびダイス部等にひび、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
●破損し、けがの原因となります。
3. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
●ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
4. 子供を近づけないでください。
●作業者以外、工具に触れさせないでください。けがの恐れがあります。
●作業者以外、作業場に近づけないでください。けがの恐れがあります。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
●乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の恐れがあります。
6. きちんとした服装で作業してください。
●だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。可動部に巻き込まれる恐れがあります。
●屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
●長い髪は、帽子かヘアカバー等で覆ってください。
可動部に巻き込まれる可能性があります。
7. 無理な姿勢で作業しないでください。
●常に足もとをしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
転倒してけがの恐れがあります。
8. 工具は、注意深く手入れをしてください。
●ダイス等の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
●握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。けがの恐れがあります。



注 意

9. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

10. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、部品に損傷はないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 部品の破損、取付け状態、その他作業に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの代理店または弊社営業所に修理を依頼してください。

11. 工具の修理は、代理店または弊社営業所に依頼してください。

- サービスマン以外の方は分解したり、修理・改造は行わないでください。異常作動してけがをする恐れがあります。
- 本体の異常に気付いたときは点検修理に出してください。
- 本製品は、該当する社内規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの代理店または弊社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

高圧ゴムホース使用上の注意

- 先に「安全上のご注意」を記載しましたが高圧ゴムホース（以下ホース）を使用する際、さらに次に記載する事項を守ってください。
- ホースを誤って使用しますとホースが破裂し、損害や損傷を及ぼす恐れがあります。

警 告

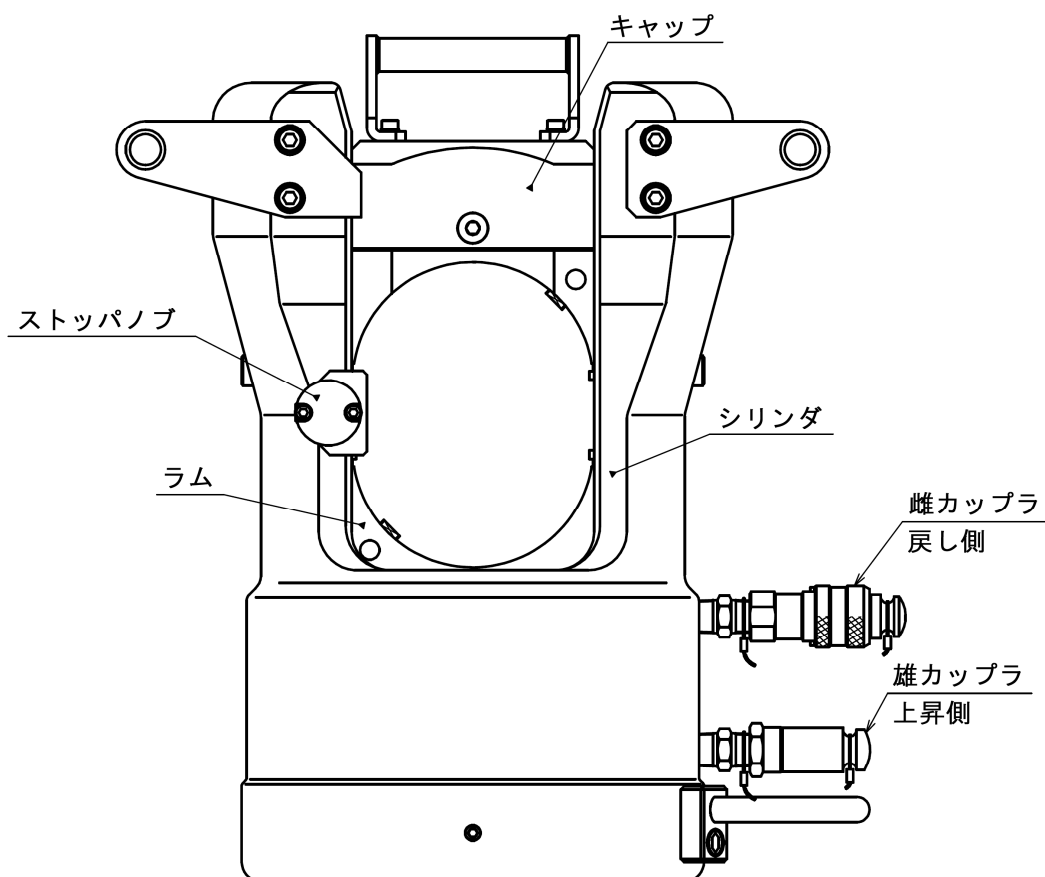
- ホースの仕様は、68.5MPaです。規定の内圧以上に圧力をかけないでください。ホースが破裂して損害や損傷をおよぼす恐れがあります。
- 加圧中のホースには絶対に触らないでください。ホースが破裂したときけがをする恐れがあります。
- 通電させないでください。通電によるホースの破損や感電の恐れがあります。
- 工具の使用前には、ホースの破損、補強層の露出など異常がないか確認してください。異常があるときは、使用しないでください。
- ホースをねじったり、引張った状態で加圧しないでください。ホース、金具部付近で破損することがあり危険です。

注 意

- ホースを接続するとき、カップラに異物が付着していたり汚れていた場合は、きれいにしてください。そのまま無理に接続すると、中のパッキンを痛め、油漏れの原因となります。
- ホースを引張って工具を移動させるようなことはしないでください。
- ホースを折らないでください。折れた部分で早期に破損し危険です。
- ホースは直射日光を避け、 $-10^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ の温度範囲で有毒ガスのない乾燥した冷暗所に保管してください。
- ホースの上には、重量物を置かないでください。
- ホースは、極端に曲げた状態で保管しないでください。
- ホースは、長期間保管しないでください。（最高1年程度を目安としてください。）
- ホースは埃がかぶらないように、また、ホース内にチリ・ゴミなどが入らないようにしてください。
- ホースは、規定された最小曲げ半径（150mm）より小さく曲げて使用しないでください。
- ホースは、車輛などで踏まないでください。

1. 各部の名称

EP-200W

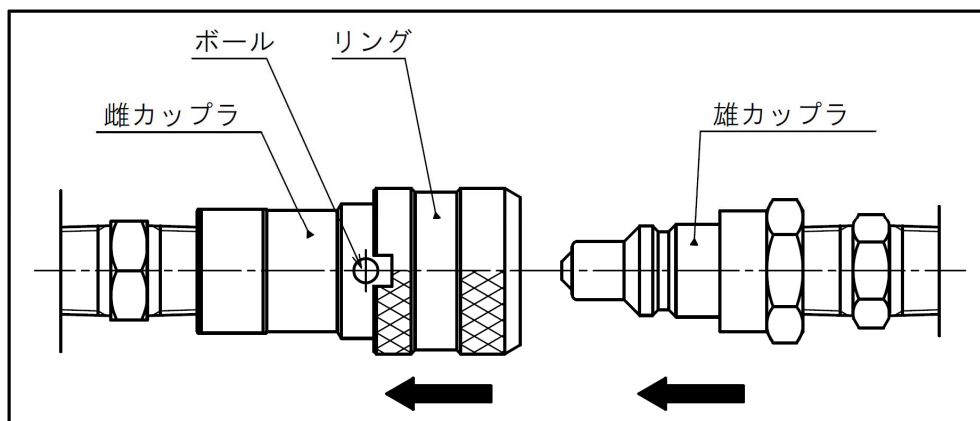


2. 工具の仕様

項 目		諸 元
機 種 名		EP-200W
作 動 形 式		複動式（安全弁内臓）
主 要 部 材		クロモリブデン合金製
公 称 出 力		1960kN（200tonf）
使 用 油 圧 力		68.5MPa
ラムストローク		40mm
カップラ	上昇側	B I 雄カップラ
	戻し側	B I 雌カップラ
所 要 油 量		約1140cm ³
質 量		86kg
適用油圧ポンプ		HPE-3 , HPM-1

3. 使用方法

- (1) 油圧ポンプのカップラへ油圧ホースを接続してください。雌カップラのリングに2ヵ所付いている溝をボールの位置に合わせて押し込んだ後、雄カップラを結合します。リングが元の位置に戻り、自由に回転できる状態が正しい接続です。



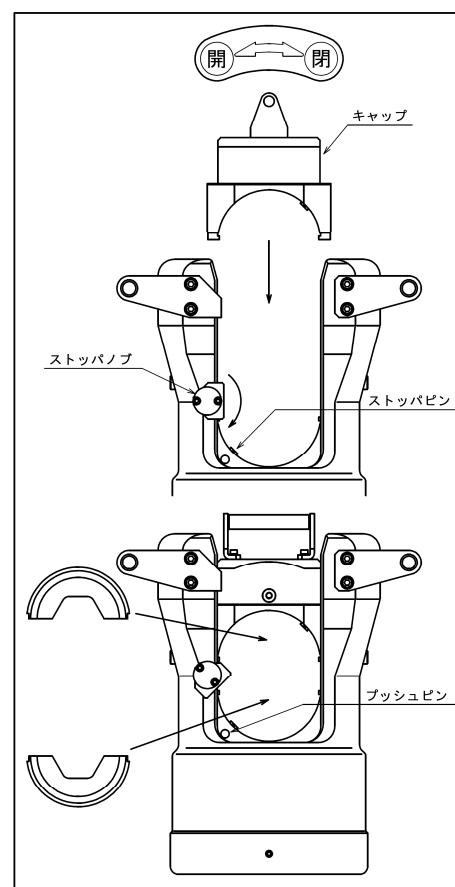
- (2) 油圧ホースの反対側についているカップラを、同様にヘッドのカップラに接続してください。油圧ポンプとヘッドのカップラ、それに油圧ホースの両端のカップラは雄と雌が逆になっていますからそのままつなぐだけで正しい接続ができます。

- (3) キャップを工具に取付けます。
継手を閉方向（時計回り）へ 90° 回転させ、回り切りの位置でキャップを完全に固定させます。

- (4) 適合ダイスを選定し工具に装着します。
- 1) ストップノブを回してスペースをあけ、次にラム側およびキャップ側のプッシュピンを押しながらダイスを装着します。
適合位置でダイスはストップピンによりロックされます。
 - 2) 2ヵ所のストップノブを元に戻し、ダイスが適切位置にあるかを確認します。

- (5) スリーブまたはコネクタに電線を挿入し、圧縮位置に工具を正しくセットします。

- (6) 油圧ポンプを操作し、上下のダイスが密着し、油圧ポンプの圧力スイッチが作動するまで加圧します。



- (7) 圧縮が終わりましたらラムを戻してください。
- (8) キャップを取り外し、圧縮したスリーブまたはコネクタを取り外してください。
- (9) 使用後、カップラにはゴミの付着および傷を防ぐため必ずキャップをしてください。

5. 保守・点検

日常の保守点検を怠りますと工具の故障の原因となります。

次の事項に十分注意して、定期的に点検してください。

1) 泥、コンパウンド等の付着の有無

汚れのあるときは、布等で拭き取ってください。コンパウンド等が拭き取れないときは洗油をつけてブラシで清掃してください。

2) 工具各部の割れ、損傷および油漏れの有無

割れ、損傷および油漏れがある場合は使用を中止して弊社に修理依頼してください。

3) 作動状態の確認

工具に油圧ポンプを接続しラムがスムーズに作動するかチェックします。スムーズに作動しない場合は弊社に修理依頼してください。

※必ずダイスを装着して行ってください。

4) 工具のねじの緩み

緩みのあるものは、増締めしてください。

5) 工具の可動部には時々モリコートまたはグリースを塗布してください。



マクセルイズミ株式会社

本社 〒399-8721 長野県松本市大字笹賀 3039 番地
TEL0263(58)5757(代) FAX0263(86)1002
お問い合わせ先はホームページをご確認ください。



<https://www.izumi.maxell.co.jp/kougu/info/area.html>

113210811-07A4